



超小型EV操作説明

1. 超小型モビリティって？

自動車よりコンパクトで、**地域の手軽な移動の足**となる1人乗りの電気自動車です。

細くてくねくねした山道や坂道でもぐいぐい。あそこに行きたい、観たいという自分の気持ちをそのまま実現してくれ、「スピード」を出さなくても楽しめる乗り物です。

超小型EV コムス



- 定員:1名
- 全長×全幅×全高
:2,395×1,095×1,500
- 車重:465kg
- 最高速度:60km/h
- 航続可能距離:50km程度

※運転には普通運転免許が必要です。
※高速道路など自動車専用道路の走行はできません



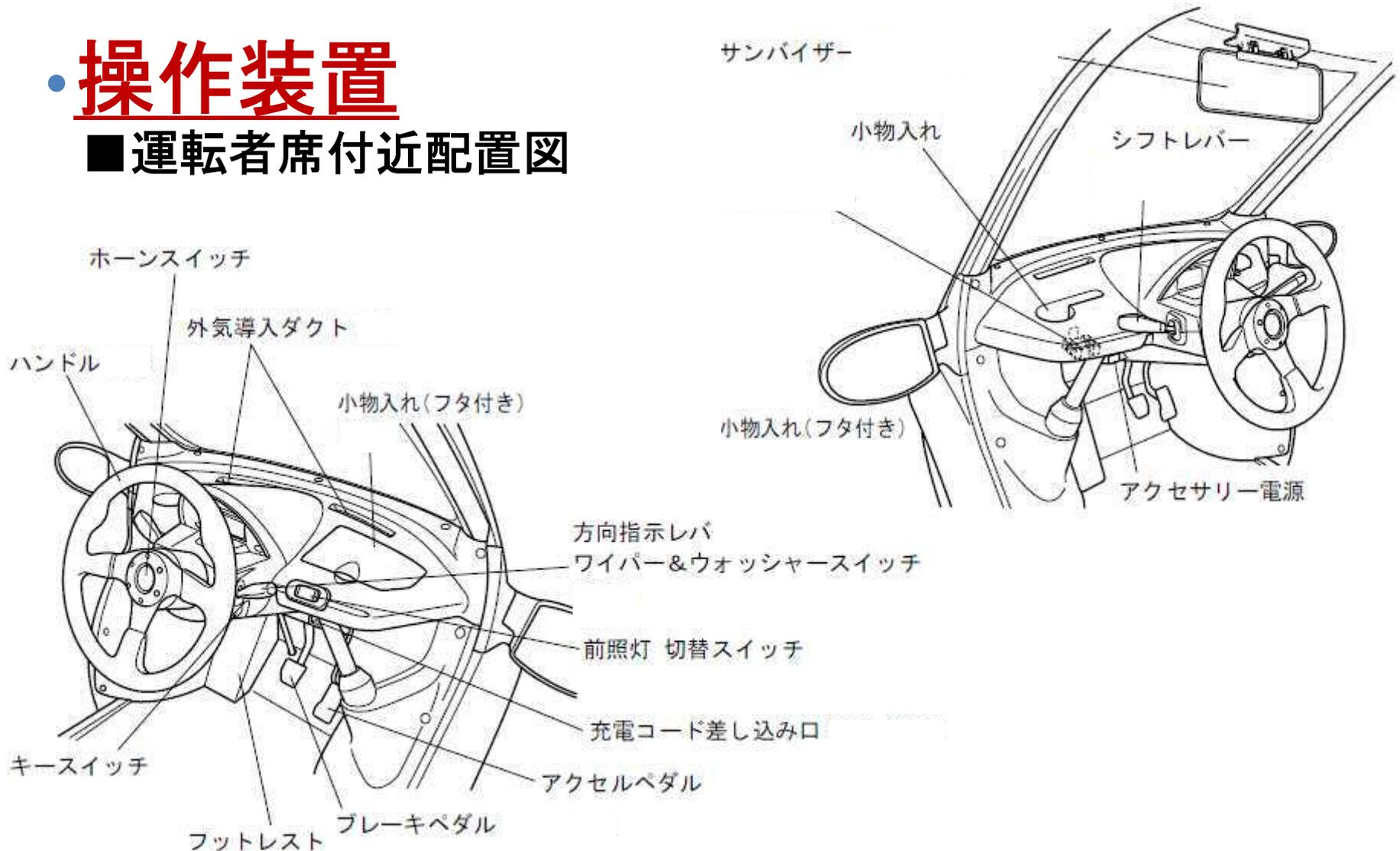
電気で走る環境に
優しい乗り物です。



2. 超小型モビリティの運転操作

● 操作装置

■ 運転者席付近配置図

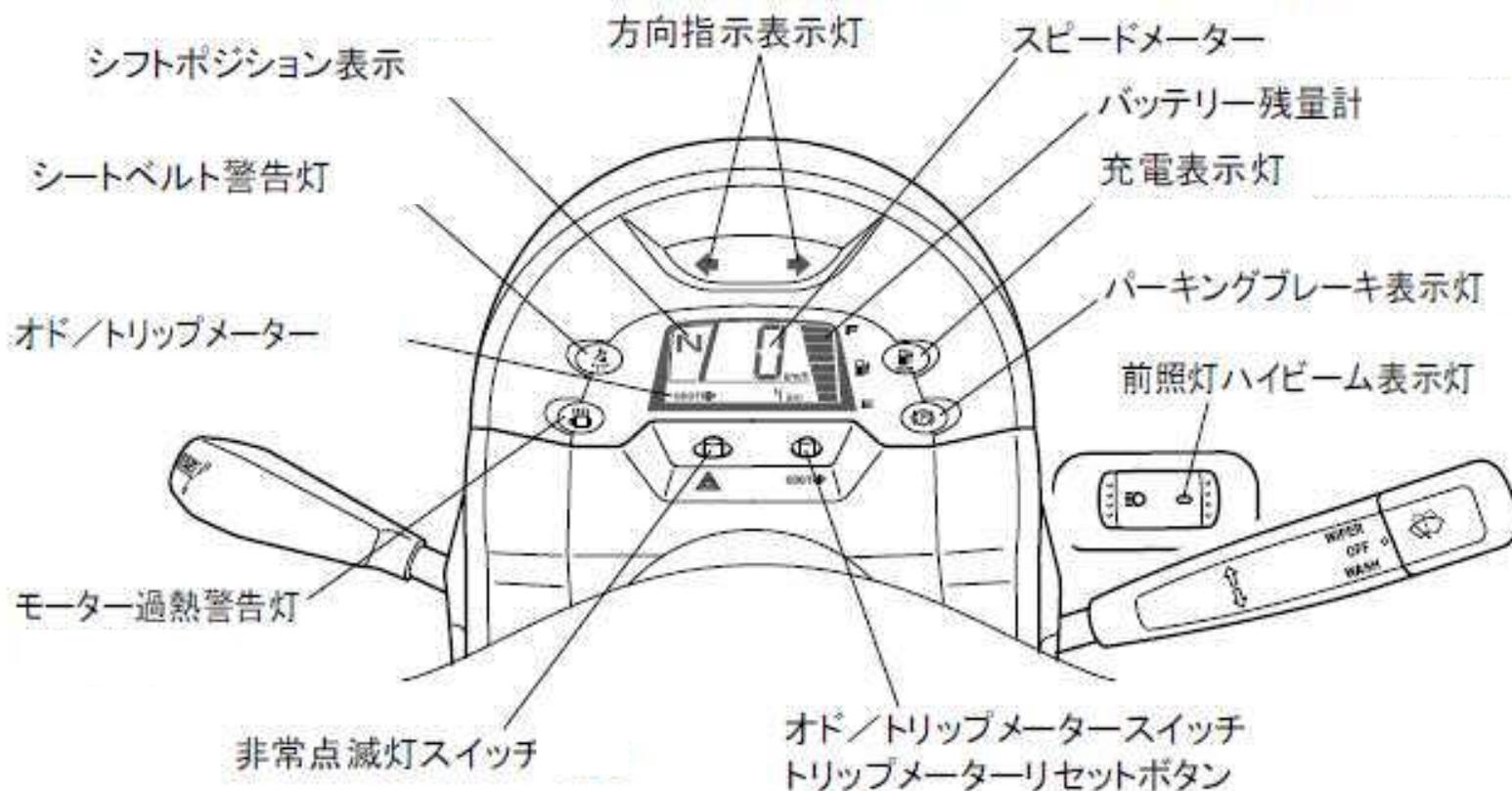




2. 超小型モビリティの運転操作

・操作装置

■スピードメータ周辺の表示



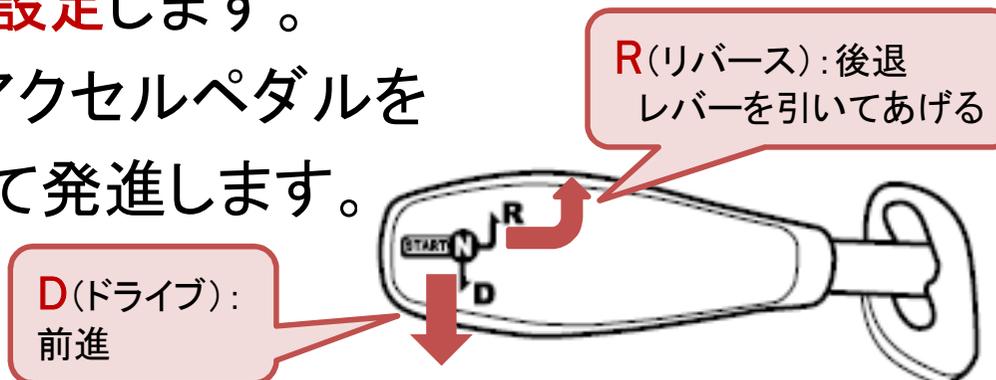


2. 超小型モビリティの運転操作

・走行する前に

◇発進

- ① アクセル・ブレーキペダルの位置を右足で確認してください。
- ② ブレーキペダルをしっかりと踏み、パーキングブレーキレバーを解除し、メーター内の**パーキングブレーキ表示灯が消えるのを確認**してください。
- ③ 進行方向に**シフトレバーを設定**します。
- ④ ブレーキペダルを緩め、アクセルペダルをゆっくり踏み込む事によって発進します。





2. 超小型モビリティの運転操作

・走行する前に

ブレーキを踏んで、
シフトレバーは
N(ニュートラル)

② 駆動バッテリー残量計

チェックポイント

- ・ キースイッチを「ON」にし、しばらくして**スピードメーターが“0(ゼロ)”**を表示すると**走行可能**となります。
- ・ シフトレバーが「N」以外するとき、またアクセルペダルを踏んでいるときは“走行可能状態”に移行しません。
- ・ **ブレーキペダルを踏み、シフトレバーを「N」にしたのを確認して、キー操作をしてください。**タイヤが回転していると、始動チェックエラーとなります。
- ・ シフトレバーが「D」または「R」のときは、**走行可能状態に移行しません。**また、その状態を続けられますと、5分後に節電機能が働き電源が切れます。その時は、電源の切れる前30秒間、警告として、断続ブザーが鳴ります。



2. 超小型モビリティの運転操作

・走行

◇通常の走行

・シフトレバーを「D」のまま走行します。

アクセルペダル・ブレーキペダルの操作で、速度調節(加速・減速)します。

◇下り坂走行

・回生ブレーキ(エネルギー回生機能)を利用してください。

必要に応じてブレーキペダルを踏んでください。

チェックポイント

急な坂道での停止後に再発進する場合、発進できずに後退する場合があります。

坂道発進可能な最大角度: 約 11° (約19%勾配)

※バッテリー残量、装着オプション、路面状況、荷物や乗員の重さにより変動します。





2. 超小型モビリティの運転操作

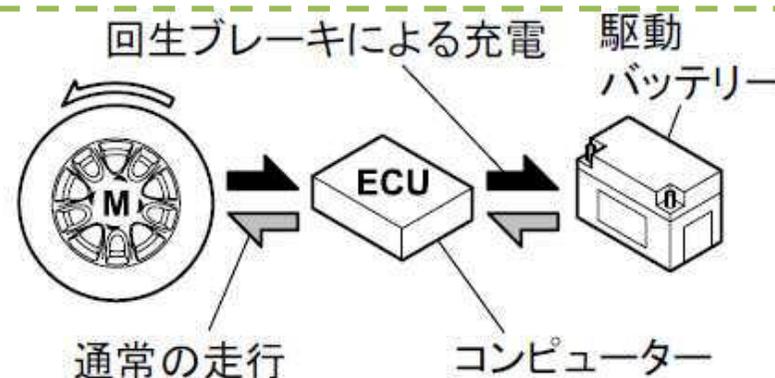
・走行

◇ブレーキ

- ・ブレーキは前輪ディスクブレーキ、後輪ドラムブレーキとなっています。
- ・補助的減速装置として回生ブレーキ(エネルギー回生機能)があり、アクセルペダルを緩めることによって作動し、ブレーキペダルを踏むことによって更に回生させ減速を補助します。

チェックポイント

- ・回生ブレーキとは
エネルギー回生機能ともいいますが、補助的に作動する減速機能です。
タイヤの回転をモーターが発電機となって電気に変換し充電します。



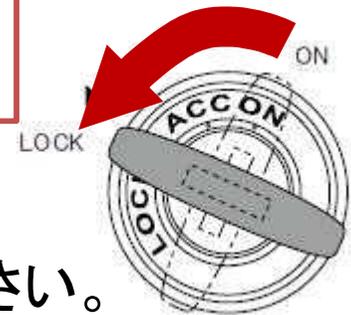


2. 超小型モビリティの運転操作

・駐車

- ① 車両が完全に停止したのを確認してからシフトレバーを「N」にします。
- ② **パーキングブレーキレバーをいっぱいまで引いてください。**

無人で車が動き出す等の思わぬ事故につながる事がありますので、**パーキングブレーキは確実に**かけてください。



- ③ キースイッチを「LOCK」へ回して、キーを抜いてください。
- ④ ハンドルを右か左方向へ回すとハンドルが固定されます。そのとき、“カチッ！”という音がします。ハンドルを左右に回して、ロックしたのを確認してください。



3. こんな時どうするの？

● 交通事故にあったら？

- ①事故負傷者がいる場合は、まず救護にあたってください（119番へ連絡）。
- ②次に、警察に連絡してください。
- ③保険会社に連絡、レッカー・修理対応などを行ってください。
- ④最後に、(株)オリエンタルコンサルタンツ 南アルプス作業所へご連絡をお願いします。電話番号 055-269-5681

事故発生



①負傷者の
救護



②警察へ
連絡



③保険会社
に連絡



④オリエンタルコンサル
タツへの連絡



電話番号

055-269-5681



3. こんな時どうするの？

● 故障や異常が生じた場合は？

- ① 走行中、車両の故障や異常が生じた場合は、速やかに交通の妨げにならない安全な場所に停車してください。
- ② (株)オリエンタルコンサルタンツ 南アルプス作業所へご連絡をお願いします。電話番号 055-269-5681

故障発生
異常発生



① 交通の妨げにならない安全な場所に
停車



② オリエンタルコンサル
タンツへの連絡



電話番号

055-269-5681



3. こんな時どうするの？

● 盗難にあったら？

①(株)オリエンタルコンサルタンツ 南アルプス作業所へご連絡をお願いします。

※盗難等にあつたことによる損害(帰りの交通費など)については、一切お支払できませんので、盗難等がされないよう、超小型モビリティ、自転車は適切に管理してください。

盗難

①オリエンタルコンサル
タンツへの連絡



電話番号

055-269-5681



3. こんな時どうするの？

• 交通違反を犯してしまったら？

通常の車両と同様に、交通違反の内容によっては、行政処分の対象になります。



① 駐車違反の場合

<p>コムス返却までに<u>反則金を納めた場合</u></p>	<p>納付の確認のため、納付書・領収書などをご提示ください。</p>
<p>コムス返却までに<u>反則金を納められなかった場合</u></p>	<p>・(株)オリエンタルコンサルタンツが警察からレンタル車両の放置駐車違反の連絡を受けたときは、借受人または運転者に連絡させて頂きますので、速やかにコムスを移動、または引取り、管轄警察署に出頭して違反を処理するようお願いいたします。</p> <p>・借受期間満了時まで違反の処理がなされない場合、駐車違反関係費用(放置違反金相当額、当社が別に定める駐車違反違約金、探索及び車両の移動、保管、引き取りに要した費用等)を請求させて頂くとともに、必要な法的措置をとらせていただきます。</p>



3. こんな時どうするの？

• 備品を紛失、破損したら？

①返却時に申し出ください。

②修理、再購入に関する費用を負担いただきます。

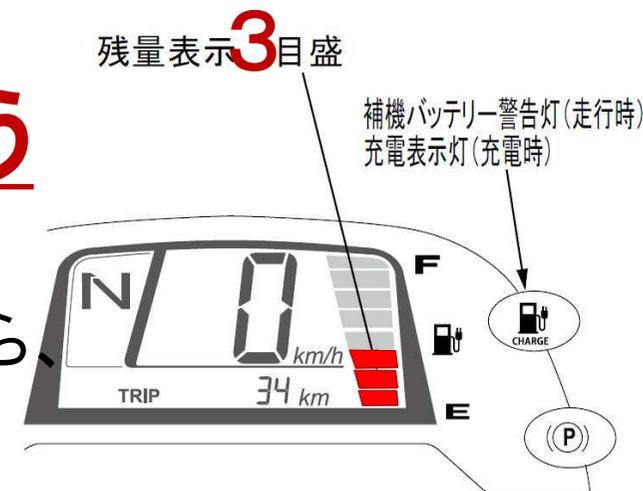
※紛失、破損等にあつたことによる損害(帰りの交通費など)については、一切お支払できませんので、紛失、破損等がされないよう、超小型モビリティ、自転車は適切に管理してください。



3. こんな時どうするの？

● バッテリーがなくなりそう になったら？

- ① バッテリー残量計が**3目盛**になったら、
速やかに充電してください。



チェックポイント

- ・ 残量表示が4目盛から3目盛、3目盛から2目盛、2目盛から1目盛になったときに、警告音として、断続ブザー(ピッピッピッ)で知らせます。ブザーは、それぞれの段階で3回、5回、5回で鳴り止みます。
- ・ 残量表示が1目盛になってから点滅するまでの走行可能距離は約5～15km※です。
- ・ 走行時に補機バッテリー警告灯が点滅しましたら速やかに充電してください。(補機バッテリーの電圧が低いため)
- ・ 残量表示が点滅(同時に断続ブザー音)してからの走行可能な時間は約30秒です。その後、回路保護の為すべての電源がOFFになります。

※ バッテリーの状態、夏場、冬場など使用環境により走行距離が異なります。



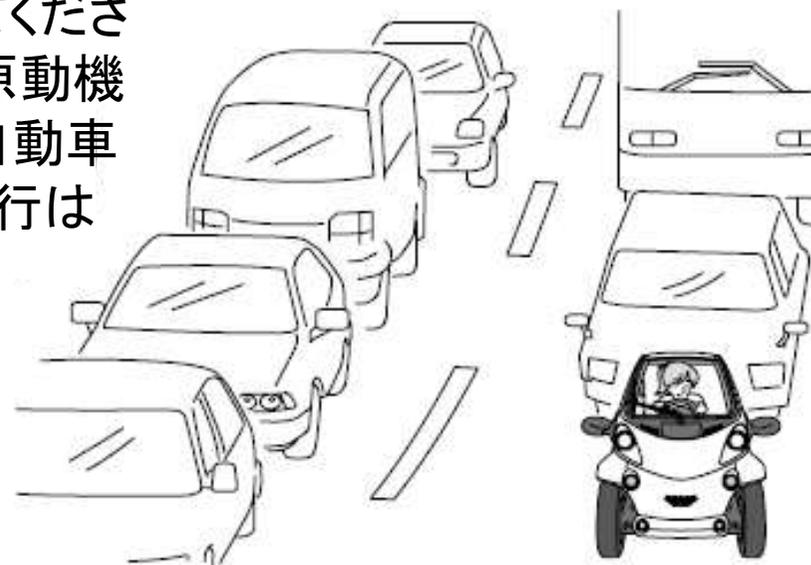
4. 利用中の注意事項

注意！

■道路交通法を守って



- ・コムスで公道を走行するときは、一般乗用車と同じように、交通ルールを守って安全運転に心掛けてください。ただし、コムスは第一種原動機付自転車(四輪)ですので、自動車専用道路(高速道路等)の走行はできません。





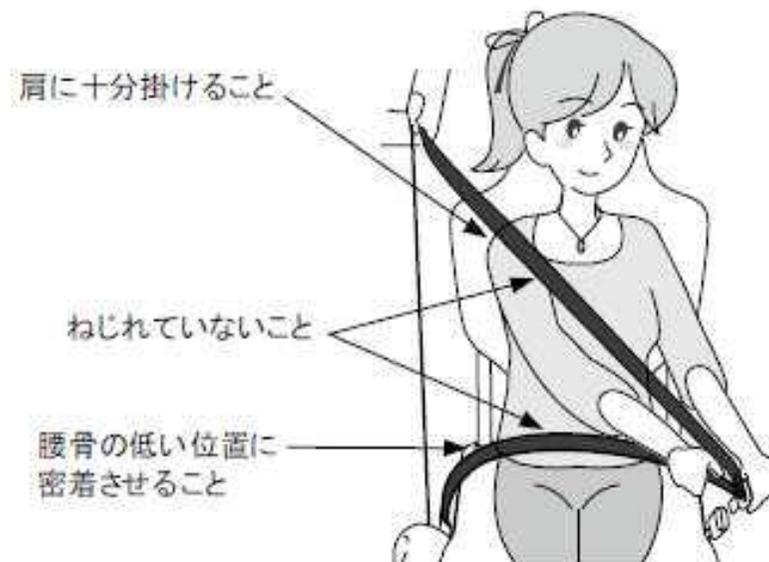
4. 利用中の注意事項

注意！

■シートベルトを必ず着用



- ・シートベルトは正しく着用しないと、効果が十分発揮できなくなり、重大な傷害を受ける恐れがあります。正しい着座姿勢で正しく着用してください。
- ・シートベルト着用をご確認のうえ運転してください。





4. 利用中の注意事項

危険！

■2人以上で乗車しない



- ・この車両は1人乗りですので、運転者以外(子供を含む)は同乗させないてください。
- ・道路交通法に違反することは勿論、運転者以外は体を固定する装置がない為に走行中振り落とされる危険が考えられます。





4. 利用中の注意事項

危険！

■運転席足元に物を置かない



- ・ブレーキペダルや、アクセルペダルに物が挟まるような事があると、ペダル操作ができなくなり、思わぬ事故につながる恐れがあります。





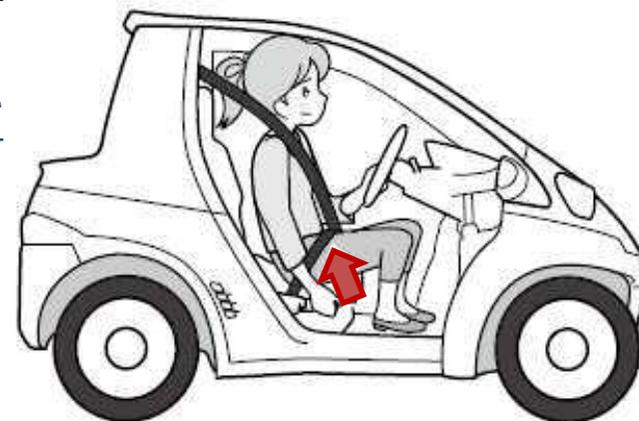
4. 利用中の注意事項

注意！

■駐車するときは



- ・無人で車が動き出す等の思わぬ事故につながる事がありますので、パーキングブレーキは確実にかけてください。





4. 利用中の注意事項

危険！

■衣服は体にフィットした物



- ・走行中に衣服が、風等の理由で車外へ出ないものを着用してください。
- ・木の枝や、対向車両に引っかかり思いもよらないケガをすることがあります。また、長めのマフラー等が後輪に巻き込まれたりすると、重大な傷害を受ける恐れがあります。





4. 利用中の注意事項

危険！

■ 荷物は収納してください



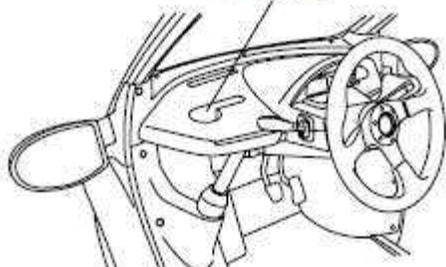
- ・手荷物や荷物は、トランクボックスまたは、各収納スペースに入れてください。
- ・荷物がはみ出したり、荷崩れしないように収納してください。



◇小物入れ

インストルメントパネル左側にあります。

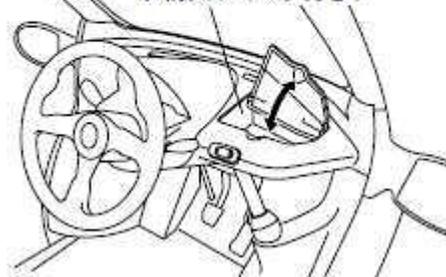
小物入れ



◇小物入れ (フタ付き)

インストルメントパネル右側にあります。

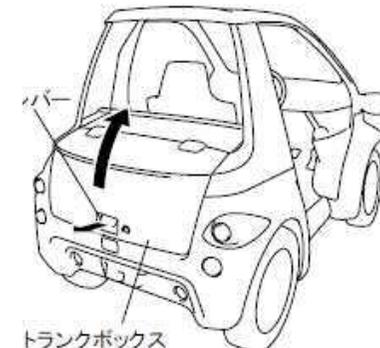
小物入れ (フタ付き)



◇シートアンダートレイ

シート下にあります。引き出してお使いください。

シートアンダートレイ



トランクボックス



4. 利用中の注意事項

危険！

■積載オーバーしない



- ・積載物の重量は、30kg(法で決められた)以下にしてください。
- ・車両の機能に影響し故障の原因になり、運転操作に支障をきたし事故を招く恐れがあり非常に危険です。





4. 利用中の注意事項

危険！

■高温部への接触禁止



- ・モーターおよび充電器・灯火器類等の高温になる部分には不用意に触れないてください。
- ・コムスの機器には、走行や充電により温度が高くなる部分があり、接触することにより火傷をする恐れがあります。
- ・コムスはDC72Vの電源で走行する車両です。むやみに分解しないでください。感電して大ケガ、または生命に関わる重大な傷害を受ける恐れがあります。



充電マニュアル

充電操作

1. 充電の準備

- ① パーキングブレーキをかけてコムスが動かない事を確認してください。
- ② シフトレバーを「N（ニュートラル）」の位置にしてください。
- ③ キースイッチを「LOCK」の位置にしてキーを抜いてください。
- ④ トランクからコードを取り出してください



2. 充電

- ① 車両付属の充電コードを車両充電コード差し込み口に接続します。
- ② 充電コードを家庭用 100V アース付きコンセントに差し込みます。アース線は必ず接続してください。
- ③ 充電表示灯（赤色）が点灯し充電開始を表示されたことを確認してください。



充電が順調にすすみますと、充電表示灯の色が赤色からオレンジ色に変わります。さらに充電がすすみますと緑色点滅に変わります。

* 緑色点滅で満充電となります。そのまま充電を続けると緑色点灯になりバッテリーの劣化を抑えることができます。

- ④ 充電が終わった後は充電コードを纏め、ビニールで包んでトランクに収納してください。